



みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

Information

あけましておめでとうございます

旧年中のご愛読に心よりお礼申し上げます。
本年もどうか宜しくお願いたします。

令和二年元旦



vol.97
2020.1.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:宮田義則 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

地域を超え、障害児の支援体制強化に取り組む 「こどもライフサポートセンターはーと」が行う三重県委託事業



三重県が各市町村への支援事業として行っている、『地域の障がい児等支援体制機能強化事業』。今年度、「こどもライフサポートセンターはーと」が県からの委託を受け、伊賀市・名張市・鈴鹿市・亀山市の担当エリアでその事業に取り組んでいます。

街の宝である子どもを守る。中でも、発達支援は子どもの未来に重要とあって、三重県では地域での支援体制を強化するため、各市町村を後押ししています。「こどもライフサポートセンターはーと」は長年にわたって子どもの発達に寄り添い、専門的な知見と機能を持ち合わせた入所事業所として、地域で重要な役割を担っています。

そこで今年度、子どもの明るい未来のために県からの委託を受け、地域を超えて障害児の支援体制機能強化に取り組んでいます。



取り組み内容は多岐にわたり、「施設内の専門的な支援体制の整備」「地域での支援者育成」、また「各自治体が抱える課題の解消」など様々ですが、「こどもライフサポートセンターはーと」が基本的なこととして説いているのが『アセスメント』の重要性です。



介護福祉分野での『アセスメント』とは、将来にわたって「その人らしい」暮らしが過ごせるよう、その人のことを正しく知る評価のこと。生活の環境や特徴、能力などを確認した上で、今後どのように手をさしのべれば良いのかを示す羅針盤となります。



『アセスメント』は、福祉事業所と利用者を繋ぐパイプだけでなく、子どもの頃からしっかりとヒアリングされたアセスメントは、その方の人生にとってとても重要です。12月には鈴鹿市で「ここだけは押さえておきたい！子どものアセスメント」として、アセスメントの役割・理解についての研修会を行いました。



地域を越えた取り組みが、県の福祉充実に役立っています

鈴鹿市・亀山市の放課後サービス、児童発達支援事業所の支援員や相談支援員、支援学校の先生、また市教育委員会など関係者約60名が市役所の大会議室に集まり、熱心に耳を傾けていました。

アンケートの一部を紹介します。

- ① アセスメントの情報を更新していく必要性はわかっていたのに、今日のお話でハッとしました。保護者としてよく話しているが、きちんと記録していなかったことを今すぐ反省しています。早速事業所に帰って改善します。
- ② アセスメントを漠然とらえていたがとても大事だとわかりました。
- ③ 子ども、保護者の「歴史」を大切にしている事業所に帰ってすぐに実践したいです。



多くのアンケートからは、感動と熱意が感じられました。参加された皆さんにとって、とても実り多い研修会になったようです。この取り組みのように、日々子どもや保護者に接する支援員にも寄り添うことは、とても大切な「支援」であると感じました。

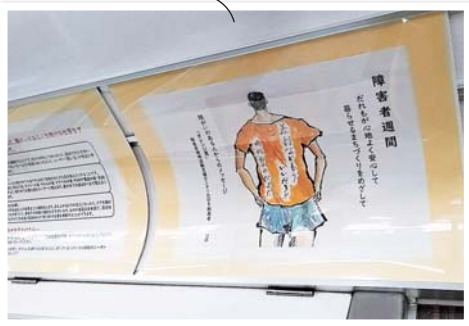
取材:田口知恵子(コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。)

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAIレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAIレポート 検索

名張市地域活動支援センターひびき



にじいろ列車出発! ～障害者週間啓発

障がい者への理解を深める「障害者週間(12/3～9)」に合わせ、伊賀鉄道“にじいろ列車”(ギャラリ列車)に、障がい者らの思いを絵や書、写真で表現した啓発作品が掲示されました。

車内には、ひびきの音楽グループオレンジヴォイスの歌詞を、伊賀市障害者福祉連盟の会員が書にした作品や、ひびきの仲間が描いた絵がたくさん飾られ、『自分の気持ちのおもむくままに生きよう』などと訴えかけていました。“にじいろ列車”は、8日まで伊賀線を走ります。間に合えば、ぜひご覧ください。



の一まらいふ暖

インフルエンザについて

本格的なシーズンを迎え、インフルエンザの予防や治療について調べてみました。

★インフルエンザにかからない為には…
ワクチン接種、外出後の手洗い、うがい、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスの摂れた栄養摂取、人混みへの外出を控える
★インフルエンザにかかったかなと思ったら…
早めに医療機関を受診、睡眠や水分を十分にとる。

これから寒さも本格的になります。健康に十分に留意しながら元気に冬を乗り越えましょう!!

通所活動支援 くきょうの家

くきょうの家では『お楽しみお料理会』を定期的に行っています。みんなで一緒に、簡単なおいしいおやつを作って食べちゃおう♪という活動!(^^)! 今回は「スイートポテト餡のミニどら焼き」です。

茹でたサツマイモをつぶし、生クリームと蜂蜜を混ぜたスイートポテト餡を、コロコロと丸めます。その間にミニホットケーキを焼き、そのミニホットケーキ2枚で餡を挟み、ラップでくるんでギュッと形を整えれば出来上がり♪

旬のおいしいスイーツにみんなで舌鼓をうちました(*^_^*)。ごちそうさまでした!



お楽しみお料理会

!!!
名張育成会の看護師によるマメ知識

季節の健康情報



ロリちゃん
健康と美容に
興味しんしんの女の子

七草粥

1月7日にいただく七草粥。松の内の最終日にいただく食の風習ですが、七草粥の歴史は古く平安時代までさかのぼり、江戸時代になって人々に定着したと言われています。ちなみに1月7日は「人日(じんじつ)の日」という江戸幕府が定めた五節句の一つで、前漢時代の中国故事に由来するそうです。

さて春の七草は、お正月料理で疲れた胃を癒し、ビタミンを補う最適な食材です。おいしくいただき、無病息災をお祈りしましょう。

- せり…目の充血やめまい予防。
- なずな…消化機能を整える。
- ごぎょう…せきを止め、たんを切る働き。
- はこべら…胃炎や胃弱に効果的。
- ほとけのざ…筋肉の痛みなどに。
- すずな(かぶ)…胃腸を整え、熱を下げる。
- すずしろ(だいこん)…ビタミン豊富で消化を助ける。

その昔伊賀盆地では、米を食いのぼすために色々な粥を工夫し、その名残で七草ではなく手に入る野菜を用いたそうです。

また名張では1月7日に行われる、山の神にまつわる鍵引き(かぎひき)神事に用いたお餅を、七草粥に入れる風習があると言われています。皆様のご家庭ではいかがですか。

(出典:小学館「食の医学館について」、農文協「日本の食生活全集三重の食」、名張市教育委員会HP)

虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271